



Introductory Rules for Racing

Version 1.01 - February 2008

入門競技規則

用語の解説

風上と風下: メインセールの出ている側を、艇の**風下側**という。その反対側を**風上側**という。

ポートタックとスターボードタック: 艇は、その**風上側**に応じて、**ポートタック**または**スターボードタック**にあるという。

アドバイザー: 競技者がルールを理解するのを助けるために、また、必要な場合には艇にペナルティーを与えるために、レース主催者に指名された人。

基本規則

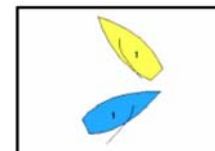
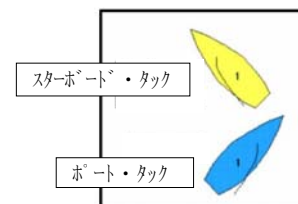
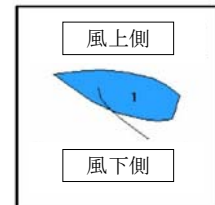
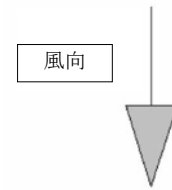
1. スポーツマンシップの原則に従わなければならない。
2. 他の艇と衝突しないよう努力しなければならない。

艇が出会った場合の規則

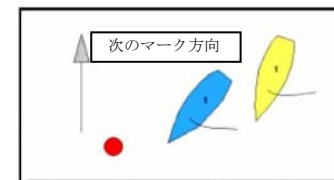
3. 自分と相手艇が反対**タック**の場合、自分が**ポートタック**なら、**スターボードタック**の相手艇を避けなければならない。
4. 自分と相手艇が同一**タック**の場合、また次の場合は自分が相手艇を避けなければならない:
 - (a) 相手艇が自分の前にいる場合、または、
 - (b) 相手艇が自分の**風下側**にいる場合。
5. スタート後に、マークまたは避ける必要がある物体に自分と相手艇が近づいている場合で、相手艇がそのマークまたはその物体と自分との間にいる場合には、自分と同じ側を安全に通過するための十分なスペースを相手艇に与えなければならない。ただし、風上マークで両艇が反対**タック**の場合には、この規則は適用しない。
6. 相手艇が自分を避ける必要があるときに、自分がコースを変更する場合には、自分を避けるための十分な機会を相手艇に与えなければならない。

その他の規則

7. スタート信号の時には、スタート・ラインより後ろにいないなければならない。
8. スタート信号後は、レース主催者が説明したコースを帆走しなければならない。
9. コースのマークに接触してはならない。
10. 自分または他の艇が規則に違反したと思った場合や、レース中のどんな場面でもそのとき適用される規則がはっきりと分からなかった場合には、そのとき起こったことをレース後に**アドバイザー**に説明しなければならない。その場合、**アドバイザー**は、規則に違反した艇の得点に2点を加えることがある。その違反が重大な場合には、それ以上に得点を加えることもある。



ポート・タックの青艇はスターボード・タックの黄艇を避けなければならない。



黄艇は青艇にマークを通過するためのスペースを与えなければならない。

レース主催者の責任

- (a) 公正で、楽しく、安全なレースを運営すること。
 - (b) スタート信号の手順、スタート・ラインとフィニッシュ・ライン、帆走するコースと回航するマークについて、すべての競技者に伝えること。
 - (c) フィニッシュ順位と同じ得点を各艇の得点として記録すること(必要な場合にはハンディキャップの調整をして)。
 - (d) レースの規則と手順についての**アドバイザー**を指名すること。
-

どのような時に使うか

この規則は、これからレースを始めようとするセーラーが、これら少しの規則だけを使って、ISAF セーリング競技規則(RRS)の多くの詳細を学ぶことなく競技できるように、この規則だけで単独で使えるように作られている。この規則は、安全な水面での小型艇のレースに適している ; 6メートルを超える艇のレースでは、経験のある人がそばにいて初心者のヘルムを教えることができるのがよく、そのようなレースでの使用は意図していない。この規則は、RRSにある基本原則や基本規則に適合している。ただし、この規則は、RRSの入門でもないし、RRSの省略形でもない。

この規則は、意図して最小限になっており、RRSの多くの複雑な部分を可能な限り省略している。この規則は、これからレースを始めようとしていて、レース経験が2年未満のセーラーのために書かれている。この期間の後には、RRSのもとでレースすることを勧める。

この規則のもとでレースする艇は、専用のコースを用いるのがよく、RRSのもとでレースする艇とコース・エアやマークを共有しないのがよい。

通常のレースとは異なり、レース主催者には、マーク、コースおよびすべての関係するレース運営の事項を、口頭ですべての競技者に対して説明する義務がある。

ルール・アドバイザーの果たす役割は、ルールを教える上で極めて重要な要素である。理想的には、ルール・アドバイザーは水上に出てレースを見守るのがよいが、最低でも、アドバイザーはセーラーが陸に戻ってすぐにディスカッションに応じられるようにしなければならない。ルール・アドバイザーは、レース・オフィサーと同じ人が兼ねても良い。

規則違反に対する標準のペナルティーは、この学習段階では必然的に小さいものであり、難しい回転ペナルティーの使用を避けている。ペナルティーを与えるのはアドバイザーだけなので、レース中に自信のない競技者にありがちな重圧も回避することができる。この2点ペナルティーは、すべての誤り(スタートやコースの誤りを含む)に適用することに留意されたい。ただし、誤りによって有利になることを避けるためにペナルティーを増やすための条項も用意されている。

フィードバック

この規則は「試験的」なものです。コメントや批評、提案を以下の WEB ページから ISAF に寄せて下さい:
www.sailing.org/contactisaf この規則は、必要に応じて更新され、最新版は ISAF WEB サイトで公表されます: www.sailing.org
